

東研サーモテック

中国拠点に第2工場

14年 熱処理加工能力2倍

東研サーモテック（大阪市東住吉区、川寄修社長、06・6714・2425）は、約10億円を投じて2014年に中国・江蘇省蘇州市の生産子会社に第二工場を新設する。同国での熱処理加工能力を現状比2倍以上に高める。同社は熱処理の専門メーカー。11年に中国進出したばかりだが、既存工場はすでに設備増強を進めており、拡張余地がほとんどない。このため第二工場を立ち上げ、自動車や建機、家電向け部品などで拡大する熱処理需要を取り込む。

中国子会社は「東研（蘇州）熱処理」。既存の第一工場の隣接地に現有敷地と同等の約1万平方メートルを確保済みで、ここに第一工場と同規模の延べ床面積約1万平方メートルの第二工場を新設す

る。工場レイアウトなどの詳細は、現在詰めている。第一工場で手がけている建機向け的大型部品を、効率よく熱処理できるラインなどを構築する。投資額の抑制と価格競



争力強化の観点から、日系熱処理メーカーに比べて価格を半値近くに抑えられる現地メーカー

に第一工場の一部設備も

14年に第2工場を新設する東研（蘇州）熱処理 ▲……………製の設備も導入する。日系に比べて性能面で劣るが、培った生産技術と日本からの支援でカバーする。第一工場は顧客要請に応えるた

移してレイアウト変更し、同子会社全体の効率化も図る。

第一工場の増強は今夏までに完了する予定。建

機用大型部品など向けの大規模熱処理炉、エアコン用コンプレッサー部品向けなどのコーティング装置などを導入し、顧客の

増産に備える。日系自動車メーカーが進める部品の現地調達化で、増加が見込める自動車部品の熱処理需要にも対応する。

日刊工業新聞
2012年（平成24年）4月6日付

日刊工業新聞社からの転載許可に基づいて掲載
本記事への著作権は日刊工業新聞社に帰属します
記事への改編、他への転載は一切禁止致します